



喜多方市

【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和4年度
学校だより
第14号

豊かっ子

喜多方市立豊川小学校
令和4年10月25日(火)
発行責任者
校長 佐々木 豊

◎(心も体も)つよい子 ◎ (自然と友達に)やさしい子 ◎ (真剣に)まなぶ子

豊かっ子発表会 ～子ども達のがんばりを見に来ていただきありがとうございました～

10月22日(土)の豊かっ子発表会では、お忙しい中、参観していただきありがとうございました。どの学年も工夫を凝らした発表を行うことができました。子ども達は発表をよくがんばり、また、それをお家の方に見ていただき大変満足そうでした。子ども達の成長や一生懸命取り組む姿を、ご覧いただけたかと思えます。参観された学校運営協議会委員の皆様からも「よい発表でしたね」とほめていただきました。



少年の主張
6年 雪 舞依夢さん

保護者の皆様には、発表用の服装の準備等ありがとうございました。PTA総務委員会、教養委員会、厚生委員会、学年広報担当の皆様には、運営等のご協力、大変お世話になりました。



1年「大きなおもい」



2年「楽しいね! 2年生の秋まつり!」



3年「きつつきの商売」オリジナルバージョン



4年「とよかわのたからをとりもどせ」
～げき のち 音楽 ときどき 体育～



5年「合奏・自分の自まん」



6年「Challenge」

P T A 教養講座 ～ 自分の好きなことを見つけて将来の夢に ～

豊かつ子発表会の後にP T A教養講座が行われました。会津ドローン愛好会会長の山本健一様から「ドローンを活用し会津の未来に繋げよう ～好きなことを仕事にしたお爺さん～」という演題でお話をいただきました。講演ではドローン操作のデモンストレーションやトイドローン体験も行われました。「好きなことなら大変なことや嫌なことでもがんばれる」「都会から会津に仕事をとってきたい」「会津の将来に貢献する仕事の1つにドローンがなればうれしい」という言葉が心に残りました。



今回のP T A教養講座は、2つのメッセージ「博士ちゃんのように自分の夢中になることを見つけてほしい」「これからの時代は、新しい仕事がたくさん生まれる時代なんだよ」を込めて企画されました。

現在、若者がすぐ仕事を辞めてしまうことが問題になっています。入社3年以内の離職者は、中学校卒が6割、高校・短大卒が4割、大学卒でも3割と、大変高い離職率となっています（厚生労働省調査）。これは「自分にはどんな仕事があるのか」「そもそも自分は何が好きで、どんなことをしたいのか」を、あまり考えずに仕事を選んでしまったのが原因の一つではないかと思われます。小学校段階で自分の将来を考えるのはまだ早いと思われる方もいるかもしれませんが、「将来の夢の『種』」となるであろう「自分の夢中になること」を子どものうちから考えることは大切なのではと思っています。

また、子ども達が大人になる10年後、20年後は、コンピュータや人工知能の発達により、今ある仕事の半分は自動化されて無くなると言われています。子ども達の65%は、将来、今は存在していない職業に就くともいわれています。今までの仕事がなくなり新しい仕事がたくさん生まれる変化の激しい時代であっても、子ども達には主体的に、自分の人生を歩んでいってほしいと思っています。

